

## 令和 8 年第 1 0 回公安委員会会議録

日 時	4 月 9 日（木曜日） 自午後 1 時 3 0 分 至午後 3 時 2 5 分	場 所	公安委員会室
会 議	公安委員	甲斐委員長 野口委員 小野委員 宮尾委員 吉田委員	
出席者	警察職員	警察本部長 警務部長 生活安全部長 刑事部長 交通部長 警備部長 情報通信部長	

### 第 1 聴聞等についての決裁

聴聞 3 件についての決裁（運転免許課）

### 第 2 定例会議

#### 1 令和 8 年 2 月熊本県議会定例会の結果について

警察本部から、令和 8 年 2 月県議会定例会の結果として、警察関係議案のほか一般質問や教育警察常任委員会における警察関係の質問等について報告が行われた。

公安委員から、警察関係議案のうち熊本県警察職員定数条例の一部を改正する条例の制定内容について質疑があり、警察本部から「本県警察官の定数は、警察法施行令で定める基準に従い、条例で定められているところ、警察法施行令の改正により本県警察官の定数の基準が 7 名増員されたことを踏まえ、条例改正により本県警察官の定数を 7 名増員することとしたものである。」旨の説明があった。

また、公安委員から、県議会の一般質問で自転車の青切符（交通反則通告制度）に係る質問があったことに関連して「制度導入後一週間がたち、メディアにも取り上げられて世間の関心も高く、啓発の効果が出ているのではないか。現場の感覚としてはどうか。」旨の質疑があり、警察本部から「今のところ検挙は 0 件で、指導警告のみとなっている。制度開始以降、徐々に交通マナーは良くなっていると感じている。」旨の説明があった。

さらに、公安委員から、教育警察常任委員会で交通情報板に係る議員発言があったことに関連して「こういったことの積み重ねが熊本県警察のイメージアップにつながる。これに携わる職員を積極的に評価していただきたい。」旨の発言があり、警察本部から「交通情報板の担当者は、プレッシャーを感じつつも、非常に注目度が高いので意気を感じて業務に携わっている。昨年、警察学校に入校した学生には、交通情報板を見て警察官を志したという者もあり、職員の採用面でも有用だと感じている。」旨の説明があった。

このほか、公安委員から「交通情報板の標語については以前から感心しているが、警察官の教育研修はロールプレイング方式であり、それぞれが役割を担うという点で自分以外の人にも目を向けている。これは、警察官の皆さんが社会に向かって目を広げて業務に当たっているということで、結果として、交通情報板のように世間の反応が良くなっているのではないかと受け止めている。今後も教育研修分野の充実をお願いしたい。」旨の発言があった。

第3 報告・決裁等

- 1 犯罪被害者等給付金の裁定の決裁（広報県民課）
- 2 苦情（R7. No.30）の調査結果の決裁（地域課）
- 3 苦情（R8. No.3）の調査結果の決裁（交通指導課）
- 4 第46回危険業務従事者叙勲の報告（監察課）
- 5 県警察におけるデジタル化・DX施策の取組状況の報告（総務課）
- 6 令和8年公安委員会会議録（第6回～第8回）の決裁（公安委員会事務室）